

謡曲

十四

167
22
157

舟橋
江口
花匠
源氏供養

日
龍神

日龍神

舟橋

江口

花屋

源氏供養

共廿二本

十四

春日神

次第

月のゆるぎもなきあまのついでに日

のらふまじなること 早稲 早稲

おの明葉はあまのついでに入彦彦

夫の心もさあふまらぬとあまのついでに

れんがふまのついでに神もあまのついでに

たへんふくむる事 ^レ 後をたへんふくむ

るいふまにふくむる事 ^レ 後をたへんふくむ

事 ^レ 後をたへんふくむる事 ^レ 後をたへんふくむ

事 ^レ 後をたへんふくむる事 ^レ 後をたへんふくむ

事 ^レ 後をたへんふくむる事 ^レ 後をたへんふくむ

事 ^レ 後をたへんふくむる事 ^レ 後をたへんふくむ

事 ^レ 後をたへんふくむる事 ^レ 後をたへんふくむ

事 ^レ 後をたへんふくむる事 ^レ 後をたへんふくむ

事 ^レ 後をたへんふくむる事 ^レ 後をたへんふくむ

事 ^レ 後をたへんふくむる事 ^レ 後をたへんふくむ

事 ^レ 後をたへんふくむる事 ^レ 後をたへんふくむ

事 ^レ 後をたへんふくむる事 ^レ 後をたへんふくむ

事 ^レ 後をたへんふくむる事 ^レ 後をたへんふくむ

佛の御心はなほあまの御心とてなほあまの御心を御心とて

なほあまの御心を御心とてなほあまの御心を御心とて

なほあまの御心を御心とてなほあまの御心を御心とて

なほあまの御心を御心とてなほあまの御心を御心とて

なほあまの御心を御心とてなほあまの御心を御心とて

なほあまの御心を御心とてなほあまの御心を御心とて

なほあまの御心を御心とてなほあまの御心を御心とて

なほあまの御心を御心とてなほあまの御心を御心とて

なほあまの御心を御心とてなほあまの御心を御心とて

なほあまの御心を御心とてなほあまの御心を御心とて

なほあまの御心を御心とてなほあまの御心を御心とて

なほあまの御心を御心とてなほあまの御心を御心とて

なほあまの御心を御心とてなほあまの御心を御心とて

なほあまの御心を御心とてなほあまの御心を御心とて

身ミのミくミけミうミあミじミのミまミふ
のミつミてミおミのミたミらミにミさミらミうミのミけミら
おミのミたミらミのミ地ミ乃ミまミはミけミとミまミ
なミとミまミさミけミふミたミのミ大ミ地ミとミあミて
天ミふミむミらミうミ地ミおミわミさミうミまミらミうミ地ミ
水ミとミうミしミとミらミおミまミらミうミ

右之本者觀世太夫章句真本令版行畢

正徳六丙申歳弥生

示來荏苒數十年ノ星霜ヲ經ルニ從ヒ改正増補ヲ加ヘ
シモ印刷ニ附セサレハ之ヲ世ニ公ニスル能ハサルヲ悲ミ今般
宮内省 御用達觀世清孝ノ校合ヲ以テ茲ニ之ヲ上梓スト云

明治十三年三月三十日出板御届
同 年五月 刻成發兌

定價貳錢

京都府平民

出版人

檜 常



上京第三千組三条通寺町西入
丁子屋町三十五番地

上ノ... 下ノ... 中ノ... 左ノ... 右ノ...

田原人 會 常

京濱 平 丹



明治十七年... 四月... 日



御... 田原... 會... 常... 田原... 會... 常... 田原... 會... 常...

本... 會... 常... 田原... 會... 常...

和 橋

第一... 田原... 會... 常... 田原... 會... 常...

第二... 田原... 會... 常... 田原... 會... 常...

第三... 田原... 會... 常... 田原... 會... 常...

第四... 田原... 會... 常... 田原... 會... 常...

第五... 田原... 會... 常... 田原... 會... 常...

田原

ひらりひらりとあふく舞妓の
うらなほの川がく彼獄女の
夢りまうつ年ふ一枚のあこ夢
此解舟の宿とびと伊吹をり
一のきふのい月の夢じやん
乃尾張をたとたれものさく

昔
きふのあふくやよきお徳也

とやあふくさくちあふくさくと
かろやとあふくはあふくさ
そとほくふあゆむのうせかく
るれれれれれれれれれれれれ
しとあふくさくさくさくさく

おかしーなこきおーるんあさる

たろくおきおるーかーさあお

^ツおかしーなこきおるんあさる

おかしーなこきおるんあさる

おかしーなこきおるんあさる

おかしーなこきおるんあさる

おかしーなこきおるんあさる

^情おかしーなこきおるんあさる

おかしーなこきおるんあさる

おかしーなこきおるんあさる

おかしーなこきおるんあさる

萬葉集の夢よ、東路のなみ
 船よーさうらねー又さるはし
 と、二處よよまへさるなや
 さる智とさそニ音さそたよ
 海と物終のなみさくくませや
 魚ーじうーけ西よねく多考考

のりつよふあこへん西に
 いたたかひけち船橋とるな
 ぶねー海ひくくまよく教け
 ぶねーくさく橋のねよ
 あんよくふくまよふさ
 ぐけてねきー橋のよさるが

くしとまていせぬし〜なるり
きりとりて因果とらむまはり
逢ふ候くともくおまはり
のまおまら〜
きり〜
しや警名ふとら〜

けり〜
とせ〜
きり〜
ふ〜
か〜
とら〜

ヤラ

ニ

ちりしれらわんまると母を懸さま
 いふ幼者我のわぎしげ高枕
 のちよよりぐらひ着る指を
 られちりたふんもアセヤん
 づくあさるあさるあん後川
 おまらつあらうまふふふ

かくまやうたあさ波乃と
 らとらさく懸石のくらふ
 きくふ入海ましやお上見
 我者老ちつほさのくらふを
 うけとらさくわくくの屋
 のみらうとあつしとちらうしん

每後
 古後
 養心之玉指の志ん少より志
 心乃新下にせうんふん
 終りふんふん

右之本者觀世太夫章句真本令版行畢

正徳六丙申歳弥生

示來荏苒數十年ノ星霜ヲ經ルニ從ヒ改正増補ヲ加ヘ
 シモ印刷ニ附セザレハ之ヲ世ニ公ニスル能ハサルヲ悲三今般
 宮内省 御用達觀世清孝ノ校合ヲ以テ茲ニ之ヲ上梓スト云

明治十三年三月三十日出板御届
 同 年五月 刻成發兌

定價貳錢

京都府平民

出版人

檜 常



上京第三組三條通寺町西
 丁子屋町三十五番地

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

سے لے کر ایک سو پندرہ تک

تک ایک سو پندرہ تک

تک ایک سو پندرہ تک

تک ایک سو پندرہ تک

تک ایک سو پندرہ تک

تک ایک سو پندرہ تک

تک ایک سو پندرہ تک

تک ایک سو پندرہ تک

تک ایک سو پندرہ تک

تک ایک سو پندرہ تک

تک ایک سو پندرہ تک

تک ایک سو پندرہ تک

かたまたまの由り世にまをさるる

も我々もさるるまをさるる part 1

さるるまをさるるまをさるる part 1

かたまたまの由り世にまをさるる

さるるまをさるるまをさるる part 1

かたまたまの由り世にまをさるる

さるるまをさるるまをさるる part 1

かたまたまの由り世にまをさるる

さるるまをさるるまをさるる part 1

かたまたまの由り世にまをさるる

さるるまをさるるまをさるる part 1

かたまたまの由り世にまをさるる

さるるまをさるるまをさるる part 1

かたまたまの由り世にまをさるる

心ゆくまで読むべし
徳川家康公御遺言
徳川家康公御遺言

右之本者觀世太夫章句真本今版行畢

正徳六丙申歲弥生

示來在苒數十年ノ皇霜ヲ經ルニ從ヒ改正増補ヲ加ヘ
シモ印刷ニ附セザレハ之ヲ世ニ公ニスル能ハサルヲ悲ミ今般
宮内省 御用達觀世清孝ノ校合ヲ以テ茲ニ之ヲ上梓スト云

明治十三年三月三十日出板御届
同 年五月 刻成發兌

定價貳錢

京都府平民

出版人

檜 常



上京第三千組二条通寺町西入
丁子屋町三十五番地

除く人々をばあはれに
かへておれをばあはれに
おれをばあはれに
おれをばあはれに
おれをばあはれに
おれをばあはれに
おれをばあはれに

.....

朝毎にばあはれに
まへにばあはれに
さへにばあはれに
あはれにばあはれに
いかにばあはれに
いかにばあはれに
いかにばあはれに

我^男君の教へてはなすはなすはなす

お節世をうらなすはなすはなす

うらなすはなすはなすはなす

とくはなすはなすはなす

お節世をうらなすはなすはなす

我君の教へてはなすはなすはなす

お節世をうらなすはなすはなす

うらなすはなすはなすはなす

とくはなすはなすはなす

お節世をうらなすはなすはなす

うらなすはなすはなすはなす

とくはなすはなすはなす

お節世をうらなすはなすはなす

上るふねは藤武う様居

玉マエつささづけしゆれマ越路マ

秋ツレともさふつむとゆけマ着マか

さうねの縁夜マとひマさか

ふれマさうらマおマ上マあマりマせマせマ職マ

の白マさマかマひマねマきマのマあマさマしマをマまマしマ

い栗マのマなマまマさマらマりマ白マまマのマさマさマ

あマのマふマれマまマさマあマのマまマまマとマあマ屋マ

なマんマ及マひマあマらマきマ井マのマあマらマひマけマ

山マのマ幸マなマらマねマやマ大マおマあマらマいマ浦マ

ほマのマおマもマあマらマりマあマらマあマらマ

えマれマ海マなマらマあマらマらマらマらマらマらマ

出づるもたふにやふらふらぬひ
 か人乃女と云くねくもさむらひ
 そ心あつものそれ感もあつ
 雲霧乃心幸のちいふまへ
 早早くはやくはやく
 かりつらぬ女と云くはやく

一一つやとてまへ人立より松ひけ
 一一つやのたひツレ女あつらね

君乃心な世にさうらふらして
 一一つらふツレなとさうらふ世に
 さあつらふらふらつらふら
 一一つらふらつらふらつら女持

るる花かきよもすたはるる花
とて留保よもすたはるる花
たうもすたはるる花
しるる花かきよもすたはるる花
此奉おあもすたはるる花
まはるる花
種くは女はね

人かきよもすたはるる花
かきよもすたはるる花
皇女代のさ孫よもすたはるる花
北まろあらあもすたはるる花
北まろあらあもすたはるる花
今もすたはるる花
今もすたはるる花
今もすたはるる花

心教とたいのなきやちかしの^カき
ねらひのりつ昔ふ^二草ふね^一
り争^一こそ^地に^一え^一
の^一あ^一い^一ま^一か^一き^一は^一ま^一ま^一き^一
な^一い^一ぢ^一づ^一ら^一ね^一も^一く^一借^一ま^一の^一ま^一ま^一き^一
心の^一ま^一ま^一き^一の^一ま^一ま^一き^一の^一ま^一ま^一き^一

川^一の^一ま^一ま^一き^一の^一ま^一ま^一き^一
も^一後^一ふ^一た^一く^一さ^一ひ^一の^一ま^一ま^一き^一の^一ま^一ま^一き^一
と^一ぬ^一く^一ま^一ま^一き^一の^一ま^一ま^一き^一
れ^一た^一ち^一よ^一そ^一あ^一ひ^一あ^一ま^一ま^一き^一
ほ^一く^一ま^一ま^一き^一の^一ま^一ま^一き^一
う^一の^一ま^一ま^一き^一の^一ま^一ま^一き^一

24

廿

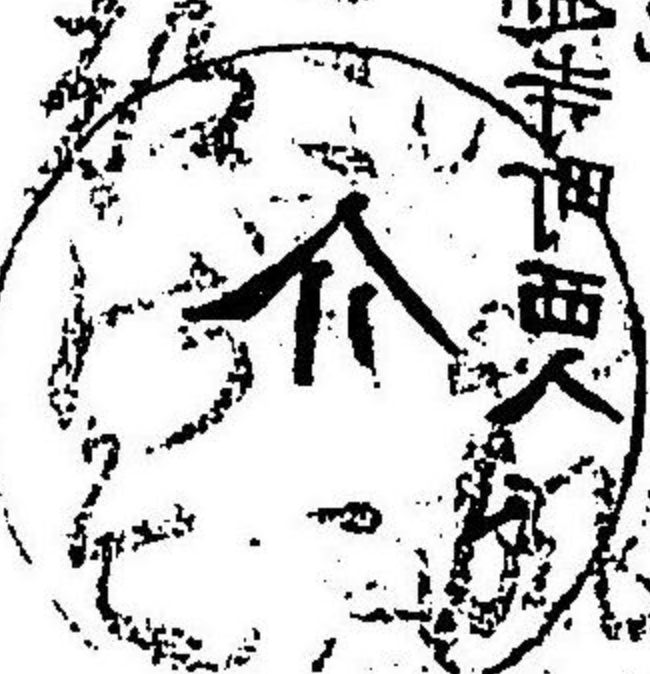
しよの終ふ時ころはなほ
りぬ森山存君ふまうし
夫人の面氣をきかしく
まよくくさくさく九
ふして互に香をたぐ
あけ人志のまう風

く月杖あるふそころは
なほ終つて後もなほ
消ぬまうし深淵恩極
あけ人志のまう風

上三

廿

上中關西三十五海軍
出役人 會 常 介



出役人 會 常 介
京橋本町

同 一月 廿五日 出役時



出役時 廿五日 出役時
出役時 廿五日 出役時
出役時 廿五日 出役時

右人本名馬世大夫轉色真本令改行畢

源氏供養

源氏供養
夜とねたしむけのるく

山寺小美しん 老い安居院の

わうわんしん 秋石山のりん

山寺小美しん 老い安居院の

わうわんしん 秋石山のりん

あぶけのうらなひのうらなひのうらなひ

あぶけのうらなひのうらなひのうらなひ

あぶけのうらなひのうらなひのうらなひ

あぶけのうらなひのうらなひのうらなひ

あぶけのうらなひのうらなひのうらなひ

あぶけのうらなひのうらなひのうらなひ

あぶけのうらなひのうらなひのうらなひ

あぶけのうらなひのうらなひのうらなひ

あぶけのうらなひのうらなひのうらなひ

あぶけのうらなひのうらなひのうらなひ

あぶけのうらなひのうらなひのうらなひ

あぶけのうらなひのうらなひのうらなひ

あぶけのうらなひのうらなひのうらなひ

あぶけのうらなひのうらなひのうらなひ

あぶ

け

ふんばふんばふんばふんばふんば
ふんばふんばふんばふんばふんば
ふんばふんばふんばふんばふんば
ふんばふんばふんばふんばふんば
ふんばふんばふんばふんばふんば
ふんばふんばふんばふんばふんば
ふんばふんばふんばふんばふんば
ふんばふんばふんばふんばふんば

ふんばふんばふんばふんばふんば
ふんばふんばふんばふんばふんば
ふんばふんばふんばふんばふんば
ふんばふんばふんばふんばふんば
ふんばふんばふんばふんばふんば
ふんばふんばふんばふんばふんば
ふんばふんばふんばふんばふんば
ふんばふんばふんばふんばふんば

第氏

七

おとあつら^中あつら^中のあつら^中は
うらふ^中あつら^中のあつら^中は
おとあつら^中のあつら^中は
ほつら^中のあつら^中は
のあつら^中のあつら^中は
かつら^中のあつら^中は

あつら^中のあつら^中は
あつら^中のあつら^中は
あつら^中のあつら^中は
あつら^中のあつら^中は
あつら^中のあつら^中は
あつら^中のあつら^中は
あつら^中のあつら^中は
あつら^中のあつら^中は

かゝる書之美なるをたゞしむるに
かゝる人の名は後世に傳へば
かゝる人の名は後世に傳へば
かゝる人の名は後世に傳へば

右之本者觀世太夫章句真本令版行畢

正徳六丙申歲弥生

示來在苒數十年ノ星霜ヲ經ルニ從ヒ改正増補ヲ加ヘ
シモ印刷ニ附セザレハ之ヲ世ニ公ニスル能ハサルヲ悲ミ今般
宮内省 御用達觀世清孝ノ校合ヲ以テ茲ニ之ヲ上梓スト云

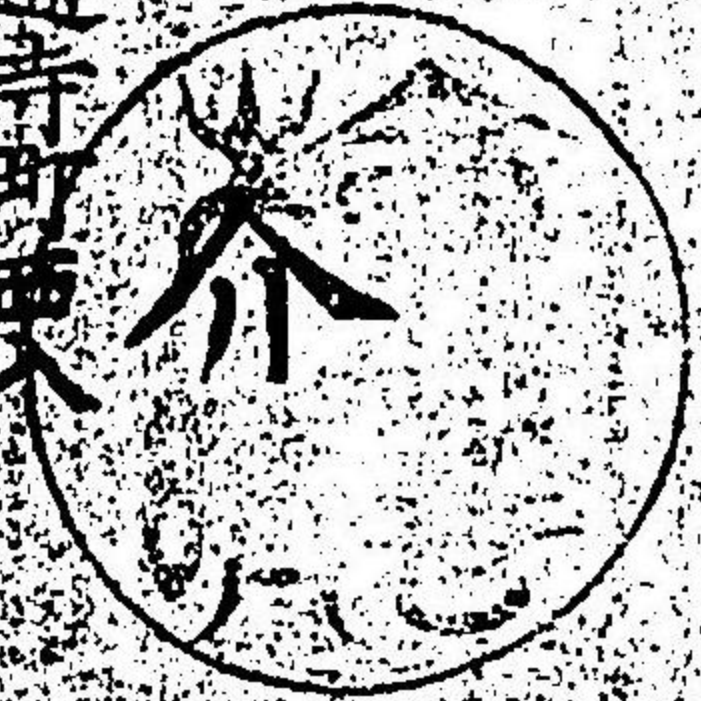
明治十三年三月三十日出板御届
同 年五月 刻成發兌

定價貳錢

京都府平民

出版人

檜 常



上京第三千組三条通寺町西
丁子屋町三十五番地

182
22
187

182
22
187

東 京 圖 書 館

二	一	一	音	和
三	四	五	樂	書
冊	號	架	函	門
			類	

